

地域の底力を信じ、市民一人一人をローカルヒーローに!

ながののNPOと市民をつなぐ機関誌

特集 「地域おこし協力隊って何してる人？」

ましまる

- ましまるニュース
- Myストーリー NPO 法人プロ家庭教師のネットワークI WILL 上垣直美さん
- 旬 NPO 紹介 NPO 法人 人和会
- お宝ざくざく地域を掘り起こせ! 長沼・まちの縁側
- ましまるイベントスケジュール



ましまるはSDGsを推進しています。





地域のもちつき大会を復活（若穂）

特集 「地域おこし協力隊って何してる人？」

「地域おこし協力隊」という制度をご存じですか？
主に都市圏から地方へ移住した隊員が、地域の課題解決・地域おこしの支援などの活動をしながら、その地域への定住・定着を目指す国の制度です。各地域からの要望をうけ、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。2009年から始まり、令和元年度は全国で約5,500人の隊員が活動しています。長野県ではこれまで北海道に次いで多い延べ350人が72市町村で活動し、そのうち77%の隊員が県内に定住しており全国的にも高い定住率です。
長野市の取り組み、市内各地区で活躍する現役隊員やOB・OGの姿から「地域おこし協力隊」への期待と今後の課題を考えます。

長野市の地域おこし協力隊

長野市 地域活動支援課

長野市は、中山間地の活性化を目的に平成26年度から地域おこし協力隊制度を導入しました。これまでに48人が在籍し、現在市内10地区で11人の隊員が活動中です。また3年間の任期を満了した25人中24人が市内に定住しており全国平均6割を上回る高い定住率になっています。長野市の特色として、隊員の年齢は全国平均より高めの37歳で社

きると好評です。さらに2020年から、応募者向けに2泊3日の「おためし地域おこし協力隊」を無料で実施しました。希望地を訪れ、雰囲気や生活の様子などをじかに感じ、活動への不安を和らげてもらう目的で全国的にも新しい取組みです。
同課は「地域が元気になるような隊員活動の環境を整え、地域が望んでいる人と活動を望む人をマッチングさせて、活動後も定住してほしい」と期待しています。

食べ物で地域を元気に健康に

篠ノ井信里地区

オーラック・メヘルナーズさん



篠ノ井信里地区でこれから活躍が期待されるのは、9月から着任したばかりのオーラック・メヘルナーズ（通称メイ）さんです。メイさんはイランの首都テヘラン出身。母国ではジェンダーについての意識も低く、女性の活動の場が少なく、女性の活動の場が少なく感じ、日本の大学院で勉強しようと2013年に来日。しかし体調を崩し退学。語学教室でのアルバイト

トで生計を立てていましたが、体調は戻りませんでした。
そんなメイさんを救ったのが食生活の改善で、身体だけではなく精神面でも楽になったと言います。その中のひとつに長野県産のセロリを使ったジュースがあり、「この経験を伝える活動こそが自分のミッション」と思い至りました。そこで自然の中で
無農薬や有機農法で野菜を栽培しながら、農業体験や食事改善のワークショップを開催したいと、地域おこし協力隊に応募しました。
さらにおためし協力隊制度で訪れた信里の自然に魅



了されたメイさん。廃材を利用した建物で自然エネルギーを活用したゲストハウスを開業するという目標もできました。

現在の業務は、魅力ある信里地区を目指し、地域の特色を生かしたイベントを企画することです。2021年からは民泊の受け入れも計画中です。また、休日には中条地区の農家へ通い、有機栽培の勉強をしています。

ソルガムで起業！

七二会地区 井上 格さん



ソルガムの国内唯一の生産地が七二会だったこと、妻の出身地が長野市だったこと、地域おこし協力隊制度が起業にもつながること、すべてが重なり長野市への移住を決意し会社を退職しました。

栃木県出身の井上格さんは七二会地区に着任して3年目。東京の総合商社で機械営業に従事していた頃から将来の起業を強く意識していました。29歳の時、子どもが小麦アレルギーで食べ物に困っていたこと、アレルギー物質を含まないソ

ルガムの実は健康食品として、茎はキノコ培地に活用でき、さらに栽培に手が掛からないことから耕作放棄地の解消策にも期待されています。着任1年目は栽培農家での実習と勉強、関係する業者とのパイプづくりでした。2年目には早くもAKEBONO株式会社を設立、栽培農家の開拓・

継続して地域を盛り上げるために

松代地区 牧野真弓さん



牧野真弓さんは松代町豊栄地区で2014年から3年間活動。在任中は、同地区の野菜生産組合の野菜やぶどうの栽培・出荷の業務に従事。松代観光親

善大使「小松姫」に選ばれたからは、観光やインバウンドにも参画し精力的に活動してきました。地域おこし協力隊に応募したきっかけは、茨城県に住んでいた当時東日本大震災があり、自分の将来を考え、より自然に近いところに住みたいと長野への移住を決意。以前から長野には旅行でたびたび来ており「馴染みがあり、自然豊かで今まで住んだどこよりも水が合う」と話します。協力隊の任期を終えた今もそのまま同地区に住み、市内の

「玄関に野菜が置いてあるなど都会では味わえない生活の中で、子どものアレルギーも良くなってきました。何より家族の表情が幸

加工業者との連携・商品開発などに奔走。3年目の現在も関係する業者との調整や販路拡大、ソルガムの認知度を上げるためサンプル商品を手に社員とともに飛び回っています。

せそうなのがつれし」と話します。長野市と信州大学が共同で取り組む「耕作放棄地におけるソルガム活用調査研究事業」にも参加し、食料以外にもバイオマス燃料への活用など、ソルガムによる循環型社会を目指していきたいと燃えています。



地元の中学生も参加、みんなで収穫

着物リサイクル店で働きのながら、田んぼを借りて米を育て、そこに市内外の人を呼んで一緒に農作業をするイベントも実施しています。協力隊として地域に入ると、顔を覚えてもらえやすくなる。一方で、この制度を知らない住民も多く、頼み事を聞いてくれる「地域の何でも屋さん」というイメージを持っていない人もいたそうです。また、「任期を終えるとその地を離れる人もいる中で、せっかく築き上げた地域とのつながりを絶たないためにも、新旧の協力隊同士の引継ぎ期間や情報交換の場など継続して地域を盛り上げる体制がある」と話しました。

地域にも自分にも

プラスな関係づくりを

若穂地区 越前屋圭司さん



猟師にとって、秋～冬は大忙し。

2019年12月に若穂地区で3年の任期を終えた協力隊OBの越前屋圭司さん。野生鳥獣食肉加工施設「白美恵（じびえ）」の運営と自宅を改装した宿泊施設「Wakaho Gjoier B&B わかほじびえ」を営んでいます。「泊まるだけでなく地元の飲食店や温泉施設も紹介し若穂を楽しんでもらっています。朝食は地元で採れた野菜や果物を用意してとても喜ばれています」と話します。

越前屋さんの任務は、有害鳥獣対策支援とジビエの振興。在任中に狩猟免許も取りましたが、加工施設は

活用されておらず、地元の猟師も「捕った後の処理ができない、売れない、だから捕らない。結果農産物の被害は増える…」という悪循環がありました。そこで、自分が加工処理と販売を受け持つことで、安心して捕れるのではないかと考え、加工の機械を導入しました。より品質の良い肉をつくり、信州ジビエのブランド化と販売ルートの拡大により、施設の稼働率を上げようとしています。さらに、料理教室やジビエツアーを開催、関係人口を増やす努力をしています。

「地域おこし協力隊の任務は地域のために何ができるかだと思う。それに加え任務を終えた後そこで自分がどうやって生きていくのか収入面も含めて見据えていかないと定住は難しい。自分にも地域にとっても良い関係を作ることが大切」と話しました。

地域の声

中条地区住民自治協議会
事務局長

大日方孝二さん

域を盛り上げ、ゆくゆくは地域の後継者になってもえたらと期待をしています。ただ、隊員が取り組む業務によっては住民との接点がありません。地域おこし協力隊員」を知らない人も多いかもしれません。地域のお祭りなどもコロナ禍で開催できず、どうやって地域住民とつながれるか：考えているところです。

今地区内にいる隊員は初めてのりんごづくりに一所懸命取り組んでいて心強いです。次に来る予定の隊員には、果樹の栽培と販路拡大、イベント支援などを中心に一緒に地



イベントのお知らせ

地域おこし協力隊との交流会を、2月10日(水)に開催します。
※詳しくはP8 イベントスケジュールを参照ください。

国は地域おこし協力隊制度に手ごたえを感じ、隊員数を令和6年度には8,000人に増やす目標を掲げ、サポート体制を強化する方向です。しかし、同制度に期待が高まる一方で課題も見えてきています。制度のメリットや成功事例が取りあげられていることで、地域のことを知らずに入りこんで目的を見失ってしまう、自分の生き方を探すために制度を活用し、地域との溝ができてしまうといった事例もあるそうです。全国の隊員のうち25%が、地域や行政との関係を理由に1年以内にやめてしまうという実態もあります。

より活動しやすくなるためには、受け入れる地域が彼らに歩み寄ることも大切なようです。協力隊に頼るのではなく、一緒に「地域をどうしていきたいのか」を私たちも考え、制度と一緒に歩んでいきたいものです。



SAKURA マルシェの様子

地域まんまるin川中島

「地域の交通を考える」

昨年度小田切地区で開催した、地域の交通について考える交流会には、多くの人が参加しました。テーマは中山間地の交通でしたが、移動の問題は中山間地だけでなく平地の住宅街などでも同様であることがわかりました。

今年度の開催を考える中、地域コミュニティづくりをするNPO法人エコライフ・プロジェクト信州(エコ信)が、「10年後、交通・移動の問

題は避けては通れない」と活動を始めたと言いました。川中島地区内の乗り合いタクシーの現状調査に取り組んでいたのです。それなら、ぜひ一緒に企画をと川中島町住民自治協議会にも声をかけ、3者共催となりました。

11月27日、川中島町公民館には、地域内外から62人が集まりました。前半、市交通政策課から、地区内を走る乗り合いタクシー川中島線の現状を共有。エコ信はその川中島線に試乗しアンケートを集計した内容について発表。動画も用いて問題点を挙げました。さらに、後半のワークのために、長野市社会福祉協議会から「地域たすけあい事業」の福祉移送についての現状、先進的な取り組みとして県先端技術活用推進課から小海町と南相木村でのICTを活用した相乗りタクシー実証実験についても共有しました。

後半は全員で意見交換。まず「今地域にはどんなニーズがあるのか?」「使えそうな資源は?」を出し合いました。

最後は「車がなくても暮らせるまちづくり」について意見を出し合いました。考えるのは10年後の未来です。タクシーや移動スーパーの利用、脚力の向上など比較的にすぐに個人でできることから、構造的な改革やコンパクトシティを目指すという地域、市全体での転換を求め意見もありました。送迎付きサービスの開発やオンラ

「10年後、交通・移動の問題は避けては通れない」と活動を始めたと言いました。川中島地区内の乗り合いタクシーの現状調査に取り組んでいたのです。それなら、ぜひ一緒に企画をと川中島町住民自治協議会にも声をかけ、3者共催となりました。

後半は全員で意見交換。まず「今地域にはどんなニーズがあるのか?」「使えそうな資源は?」を出し合いました。暮らしに直結する買い物や通院はもちろん、免許返納による外出機会減少などの問題、そして、美容院や温泉など「ふらつとでかけたい」という時間に縛ら

インで買って配達してもらおうというアイデア、また、自給自足や住民の支え合い、考え方を考えることも大切では?との意見もありました。みなさんまだまだ話したくない感じでしたが、最後にエコ信の理事長宮下八紘さんから「今後行政や住民などが一緒に話せる場づくりを」と発信がありました。まんまるでは来年度も引き続きこのテーマについてみなさんと考える機会を作りたいと考えています。



#15

My
ストーリーNPO法人プロ家庭教師のネットワーク I WILL(アイウィル)
事務局 上垣直美さん

もともと家庭教師派遣会社にいた上垣さんは、自分のスキルを活かして社会貢献がしたいと、2008年仲間とともに学習支援のNPO法人アイウィルを立ち上げました。

「必要最低限の価格設定で本当に支援を必要としている子たちの学習の場」をつくろうと活動をスタート。まずは法人の知名度を上げようと寄付を集めた参考書のリサイクルイベントを企画、学習会は公民館など公共の場を使い、利用しやすい場づくりをめざしました。

児童養護施設への出張学習室を
するようになると、
徐々に利用者からの
信頼を得られ、行政
との連携もできるよ
うになつていきました。
コツコツと実績を積
み上げてきた上垣さ
んですが、当初は行
政に相手にしてもら
えなかつたり、団体
内の情報共有がうまく



いかず、孤独を感じた時もありまし

た。悩みを聴いてもらえる場所を求めて、まんまるにきて愚痴をこぼすこともあつたと言います。自分が聴いてもらいうちに自分たちが目指すのは学習支援だけでなく、子どもたちが悩みや話を聴いてもらえる場所なのだと思つて活動に活かしています。「学生時代10種類以上のアルバイトを経験した中で家庭教師は自分にとつての天職。今でも教えることや勉強が好きで生涯現役の家庭教師でありたい」と思っています。そんな上垣さんの楽しみは、お風呂あがり、水槽を気持ちよく泳ぐ100匹のめだかを眺めて過ごすこと。毎日の日課となり癒しとなつてい

団体情報

NPO法人プロ家庭教師のネットワーク I WILL (アイウィル)
〒381-2423 長野市信州新町日原西304-1
TEL 026-264-2070

プロフィール

長野市信州新町に夫と子ども2人の家族4人で暮らす。スイーツ好き。現在はダイエット中で、ウォーキングに加えスイミングも始める予定。

旬 NPO紹介

まんまるの!



シンボルのしるくまは、柴山さんが描きました。

NPO法人 人和会 TEL:026-214-1820
<https://towakai1089.com/>

とわかい
NPO法人 人和会

2018年一般社団法人人和会として設立障がい者が適切なサービスを受けられるよう積極的に支援をしています。

支援するうちに、障がい者の就労支援の受け皿が少ないと感じ、2020年4月に就労支援と自立訓練を兼ね備えた施設「みずのごとし」を稲里町に開所。同時に、より多くの人に自団体を知ってもらいたいとNPO法人に転換。

同施設では、利用者は配達助手や製本作業、調理などの仕事をしていきます。代表理事の米山勝也さんは、「利用者に寄り添い、その人にあつた仕事を探し、自信をつけて自立できるようにしたい」と話します。「みずのごとし」とは、水のように生きることが幸せであるという老子の言葉に由来しています。

**ボランティアは希望
これからも共に
長沼 津野復光隊**

10月29日、長沼地区で活動する津野復光隊の渡辺美沙さんが、市内企業の労働組合執行役員研修会で、台風19号災害からの復興について話しました。これは、渡辺さんと執行役員の一人在7月5日に開催された「NPOカフェまんまる×長野市域災害時支援ネットワーク交流会」で出会ったことがきっかけです。同組合の有志が津野の共有地の草刈りに参加、改めて被災地について知り、支援につなげようと企画されました。

津野復光隊は、被災後まもなく住民自ら農地復旧のため結成。渡辺さんはその中心的存在。全国でも画期的と言われた農業ボランティアの立ち上げに関わ



被災時の写真を写しながら当時は振り返る

り、行政ではできない農地の復旧作業をNPOなどと協働で実現。地域を熟知している立場で受け入れの調整に奔走しました。

地区では人口減少への懸念やそれによる耕作放棄地や堤外共有地の維持管理などの課題もあります。でも渡辺さんはあきらめていません。ボランティアの力を自らの原動力にしてきた経験があります。「ボランティアはわたしたちにとって希望。コロナ禍で県外からのボランティア受け入れができない中、信頼感と顔の見える関係がある地域のみなさんの存在が力になる。これからも力を貸してほしい」と訴えました。

**お宝
ザクザク 地域を
掘りおこせ!**



市内に地域の居場所「まちの縁側」を広めるまちの縁側育みプロジェクトなのが、長野県立図書館で3回連続の「まち育て幻燈師塾」を開催。ボランティアや施設職員などが集まりました。

「まちの縁側」は、名古屋のNPO法人まちの縁側育み隊の故・延藤安弘さんが全国に広めた「まち育て」の取り組み。かつてどの家にもあった縁側のような、ヒト・モノ・コト・トキがつながる場を、人のつながりが希薄な今こそ地域に作ろうというもの。延藤さんが講座で用いた「幻燈会」は、「まちの縁側」を表現する写真を映しながらその物語を語る手法です。同団体はこの手法を継承する

**まち育ての物語の
語り部となる
まちの縁側育みプロジェクト
ながの**



二つの画面に映し出された画像に物語を添えます

「まち育て」の人材を育てよう」と本講座を企画しました。

1日目は4コマ漫画で起承転結の物語の作り方を学び、2日目は写真家飯塚英春さんから写真の撮り方を学び、「次回までに一人ずつスライドを作り、語れるように」という宿題が出ました。

3日目、いよいよ幻燈会です。それぞれが自分なりの物語をスライドを映しながら語ります。そこには出会いがあり、一つのコトからヒトの縁やモノを介した交流が広がる様子が描かれ、工夫を凝らした力作ぞろい。発表した後は互いに感じたことをメッセージにして贈り合いました。

春には幻燈師のみなさんが集まるを企画を考えています。お楽しみに。



タイトル	日時	会場 / 費用	内容
市民活動いりぐち講座	2月24日(水) 13:30-15:30	市民協働サポートセンター 参加費:300円 定員:5人	「何かしてみたいな」と考えている人、ボランティアとは? NPOってなに?という人など、まずはこの講座から始めましょう。市民活動やNPOの言葉の意味から市内の市民活動紹介まで。関心のある方はどなたでも、お気軽にご参加ください。
NPOステップアップ講座 「コミュニティマネジメント講座 いろはの「は」 リアルとオンラインによる ハイブリッドマネジメント」	1月24日(日) 13:00-16:00	もんぜんぶら座304会議室 またはオンライン 参加費: リアル参加 1人500円 オンライン 1アカウント500円 定員: もんぜんぶら座35名 オンライン受講50名	新型コロナウイルスにより気軽に人と接することが難しくなりました。まだまだ終息まで時間がかかるでしょう。緩和と制限、不安と希望が入り混じる中でも、市民活動を停滞させるわけにはいきません。今こそ情報交換や対話を大切に、強くあたたい組織運営が必要となります。いろはの「は」では、今まで学んだ集大成として、コミュニティマネジメントの原理原則に基づきながら With コロナ時代の新しく新しい組織運営について考えます。講師:呉哲煥さん(NPO法人CRファクトリー代表理事)対象:NPO・ボランティア団体・住民自治協議会などの団体運営にかかわっている方(別途参加条件がありますのでお問い合わせください)
NPOカフェまんまる 「このままでいいのか!? おれ(わたし)の今まで おれ(わたし)のこれから 少し話してみようか」	3月13日(土) 13:30-15:30	もんぜんぶら座304会議室 参加費:無料 定員:15人 対象:30代~40代の男女	働き盛りの30代~40代。これから先の生き方や在り方を考え始め、そして迷い模索している頃でもあります。そんな気持ちを洗い出し、自分棚卸しをしてみませんか?
地域まんまる with 地域おこし協力隊 「協力隊と出会ってつながってコラボしよう!」	2月10日(水) 13:30-16:00	篠ノ井交流センター 参加費:無料 定員:50人(事前申込) 対象:地域おこし協力隊のことを知りたい方	長野市には地域活性化のために精力的に活動している地域おこし協力隊がたくさんいます。どんな人がどこでどんな活動をしているのか? みなさんの活動とコラボできる可能性がいっぱいあります。この機会に出会いに来ませんか?
おでかけぶちまんまる 「バレンタイン DAY に チョコっと市民活動♡」	2月14日(日) 10:00-12:00	cublee(キューブルー) (セントラルスクエア向かい) 参加費:550円(チョコ1缶代) 定員:10人 対象:社会貢献してみたい方	バレンタインデーにチョコでちょこっといいことしませんか? イラクの小児がん支援や福島の子供支援活動をするNPO法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)が、毎年冬季限定でチョコ募金を行っています。チョコを購入してちょこっと貢献活動+フェアトレードについて話しませんか?
NPOステップアップ講座 「NPO会計のいろは」 会計事務処理相談会	3月20日(祝・土) 13:30-16:00	もんぜんぶら座303会議室 参加費:300円 定員:5団体 対象:NPO・非営利団体	NPO団体にとって、会計事務処理は悩ましい作業。3月は期末を迎える団体も多いのではないのでしょうか。助成金の会計処理、決算などあらゆる会計処理について、専門の税理士が1団体30分限定で個別相談に応じます。完全予約制。

新型コロナウイルスの影響で、開催方法などが変更になる可能性があります。ホームページやフェイスブックでも随時情報発信しています。あわせてご確認ください。



はココに!

山田歯科 歯科
小児歯科

西尾張部のスシロー若宮店向かいにある歯科医院です。山田和昭院長は「優しい歯医者さん」として地域に生まれ開業から30年を迎えました。市内の校医や園医も続けてきたので山田院長に診てもらった人も大勢いますよね。当時、治療した子どもさんが今は親になって我が子の治療に来られるそうです。診療台に横になって見上げると天窗から空が見えて、ほっと気持ちが和らぎます。待合室でお名前が呼ばれるまでの間、ゆったりと機関誌まんまるをご覧ください。山田歯科医院(長野市西尾張部1120 026-259-6090)

機関誌まんまる設置場所募集!!

発行 / 市民協働サポートセンター まんまる (長野市)

TEL:026-223-0051 FAX:026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F

e-mail: npo@nagano-shimin.net

ホームページ: <https://nagano-shimin.net/>

編集後記

コロナで始まった2020年。収束がみえないまま2021年を迎えます。そうはいっても立ち止まってはられない!! よりいっそうパワーアップしたまんまるになれるよう、たくさん食べて身も心もまんまるになったスタッフTです(誰かは指摘しないでね)



山田院長より、健康は「健口」から!